



二宮 美津代 議員

二宮 遊びを通して子ども同士が友情を培い、また社会性や自主性を高めるための課題と解決のための取組みはどのようにすすめられているのか。

に健全な遊び場を与え、健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童福祉施設と定義付けられている。

既存の施設は児童館とまではいかないがその要素をもつ子どもの居場所という観点で理

解いただきたい。

子育て課長 財政的なことも考えなくてはならないので、まずは街区公園の整備とか、シーメイトの「なかよし広場」の利用を促進したい。

のような段階にきているのか。

子育て課長 遊び場の拡充、児童館の整備、地域活動、育成活動の推進、相談事業の充実が考えられ、子どもの居場所づくりとして特に小、中学生を対象とした児童館が必要であり、公共施設を利用し推進する。

二宮 児童福祉法にいうところの18歳までが利用できる独立した児童館の設置は考えられないのか。

町長 財政事情も厳しく、箱物を新しく建てることはできないが、役割を終えた施設などでの整備を検討したい。

二宮 「ゆとりの部屋」「にじいろほけつ」は児童館としての機能なのか。

二宮 プレイパーク構想については現在ど

町長 児童館は児童



西川 蓉子 議員

西川 二転三転する行政の判断理由。平成11年度1、350万円の調査費をかけた。

前回の1、350万円の調査結果を否定し見守り保存に変更された経緯は。

調査の総評では①公共施設としての利用はかなり難しいと思われる。

町長 今回初めて残したいと表明したと認識している。

②観光資源としての利用は投資が大き過ぎるのではないかと思われる。

③歴史遺産、文化財としての評価は別の観点から検討する必要がある。少なくとも経済的意味からの投資効果は低いと思われる。

以上3点の結果を受け、町長は解体の意向を示されたが、今回100万円を費やし調査され、

前町長時代は解体もありき、またその土地を有利に取得するかという交渉で、私が引き継ぎ扇風機抗口の上に赤坂ナガラ元線を通した時に、いろんな方から特にマスコミから指摘を受けた。

台風による剥離片が飛散したことから、解体保存の結論を求められたので、学者に判断を求めた結果が10月末に。保存の方向を示さないと町民の意見を聞くこともできない。

西川 震度6強の地震があれば崩壊もあり得ると調査結果がでているが近隣の住民の安全は、なぜ見守り保存か。

町長 お金がかからないから見守り保存、安全が確保できないから分離をい。

町の政治というのは皆さんの意見で動く、今の時代は私は残させてほしいと言っているが

次の時代の人じゃあ解体解体すべきだと、皆さんも同意されて解体してくれと。そういうこともあってしょう。

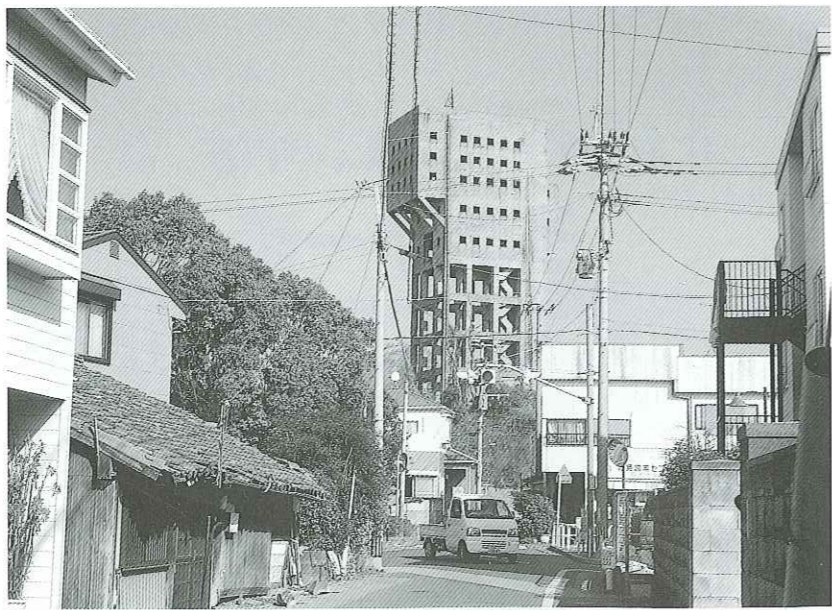
健全な遊び場と機会の提供



写真

健全な遊び場作りを

豎坑槽は是非か



写真

豎坑は保存か解体か